

# 「免疫制御による肝炎ウイルス感染の予防・治療を目指した研究」

2022年6月

## 【研究の目的と方法】

HIV感染者においては、肝炎ウイルス感染症の合併率が高いとされております。HIV感染のある患者様が肝炎に感染した際には、肝炎の重症化および慢性化が起こりやすく、HIV感染は肝炎ウイルスに対する防御応答に不利な影響を与えることがあります。その原因は明らかになっていません。本研究では肝炎ウイルスの制御にかかわる因子を見つけることにより、より良いワクチンや肝炎治療薬の開発を目指しております。

東京大学医科学研究所附属病院は、1986年からHIV診療を開始しており、当院の診療録を用い、各々の流行時期に罹患した患者様の肝機能障害の程度などを調べ、HIV感染者がB型肝炎に罹患した際の進行予測など患者様の診療に役立てることができると考えております。

## 【対象となる患者様とご協力いただきたいこと】

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科において2002年1月1日から2018年12月31日までの間に診療を受けたHIV患者様のうちB型肝炎を罹患した患者様(既に亡くなった方々も含みます)の診療情報(年齢、性別、血中HIVウイルス量、CD4陽性細胞数、B型肝炎ウイルス量、肝機能、治療内容、転帰等)を本研究の代表機関である国立国際医療研究センター肝炎免疫センターに送付し、研究に使わせていただくことです。

## 【研究期間】

2022年6月14日～2027年5月末

## 【個人情報保護の方法】

診療情報は、この研究のもとで付された符号により厳重に管理し、研究に用います。患者様の識別情報と照合できる資料(対応表)は、当院の個人情報保護管理責任者が保管・管理します。

## 【研究参加による利益・不利益】

利益・・・本研究にご協力いただくことで、患者様に直接的に利益となるようなことはありませんが、HIV感染患者様のB型肝炎合併時の診断・治療の一助になることが期待できます。

不利益・・・保存されている診療情報のみを用いるためご負担をおかけすることはありません。

## 【研究協力の辞退について】

本研究にご自身の診療情報が使用されることを辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。辞退の連絡を受けた場合、患者様の診療情報を本研究の対象から取り除きます。辞退のお申し出により、不利益が患者様に生じることはありませんのでご安心ください。但し、辞退のご連絡を受けた時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もありますことをご了承ください。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者様の個人情報には厳重に守られますので、第三者に患者様の個人情報が明らかになることはありません。

本研究は、本研究所の倫理審査委員会の審査と、所長及び病院長の承認を得ていることを申し添えます。

本研究についてのご質問、あるいは、本研究への診療情報の使用について辞退されたい場合などは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。また、本研究について詳しくお知りになりたい場合には、研究計画書等の資料をご覧いただけますので（但し、他の対象者等の個人情報や知的財産の保護等に支障がない範囲内で）、下記の窓口までご連絡ください。

[問い合わせ窓口]

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症分野/附属病院感染免疫内科

古賀道子

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1

電話：03-5449-5338, Fax：03-5449-5427

E-mail: michiko@ims.u-tokyo.ac.jp